

令和5年 特別講演会

- 日 時：令和5年10月20日（金）14時30分（受付14時）
- 会 場：鹿児島大学共通教育棟1号館 3階 131号室
- 参加費：無料
- 土学会継続教育（CPD）認定プログラム JSCE23-0955

プログラム

14:00～14:25 受付

14:30～14:35 開会挨拶

14:35～15:35 講演①：『定期点検で活用可能な点検支援技術』

講師：(株) CORE 技術研究所 小椋 紀彦 氏

（講演概要）

国土交通省が先導し、橋梁・トンネル施設の定期点検に活用可能な新技術の公募が進められている。これらの技術は「点検支援技術性能カタログ」として掲載され、令和4年度からはこの点検支援技術の活用を原則化し、直轄国道の橋梁・トンネルの定期点検業務において、掲載された技術の中から選定が行われている。本講演では、弊社が産官学で連携し技術開発を行った「360度カメラ撮影による定期点検支援技術」、「ドローン空撮による橋梁のたわみ計測」について紹介する。

15:35～15:45 休憩

15:45～16:45 講演②：『海洋・港湾構造物の点検・診断手法の解説と維持管理に関する技術開発の取り組み事例』

講師：東洋建設（株） 湯地 輝 氏

（講演概要）

高度経済成長期に建設された海洋・港湾構造物の多くは老朽化が進行し、今後、維持管理費の増大が見込まれていることから、維持管理費を抑制しつつ、海洋・港湾構造物を効率的に活用することが課題となっています。本講演では、海洋・港湾分野で行われている点検・診断手法、ならびに海洋・港湾構造物維持管理士の担うべき役割を解説しつつ、海洋・港湾構造物の点検診断技術や、防食技術開発に関する取り組み等についてご紹介いたします。

16:45～16:50 閉会挨拶

<お問い合わせ先>

一般社団法人構造物診断技術研究会 事務局 徳永

TEL：099-285-8479 email:rodts@oce.kagoshima-u.ac.jp